

1 快適な都市空間の形成

●都市の骨格となる道路整備

- ・慢性的な交通渋滞の緩和を図る道路整備を推進しています。
- ・令和元年度は、大分市の（一）高崎大分線の改良工事を推進するなど、渋滞解消に向けて、事業の進捗を図りました。



●道路空間の再生

- ・道路の拡幅や既存の道路敷内における幅員構成の見直し、歩道整備、バリアフリー化、電線類の地中化などを実施し、質的向上を推進しています。
- 令和元年度は別府市の（都）山田関の江線の改良工事や大分市の国道210号の歩道橋撤去工事などを行いました。

●都市公園の整備

- ・大分スポーツ公園は、ラグビーワールドカップ2019™日本大会の試合会場整備のため、総合競技場にハイブリッド芝を導入しました。
- ・大洲総合運動公園は、安全で快適なスポーツ空間を提供するため、テニスコートを改修しました。

【目標指標】

指 標	基準値		R1年度		R6年度	
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
対策を講じる主要渋滞箇所数	H26	—	21箇所	19箇所	90.5%	30箇所
1人当たりの都市公園面積	H26	13.1㎡/人	13.2㎡/人	13.4㎡/人	101.5%	13.4㎡/人
都市内の街路整備延長	H26	502km	507km	507km	100.0%	510km

【指標による評価】

評価	理 由 等
概ね達成	R1年度は主要渋滞箇所の解消に繋がる開通はないが、これまでの取組により目標値を概ね達成した。
達成	整備水準の目安となる1人当たりの都市公園面積について、計画的な整備により目標値を達成した。
達成	計画的な整備により目標値を達成した。

2 潤いのある水環境の創設

●生活排水処理対策

- ・「大分県生活排水処理施設整備構想 2015」に基づき市町村と連携し生活排水処理対策を推進しています。
- ・下水道整備や合併処理浄化槽への転換を推進する市町村に支援しています。
- ・整備に時間を要する下水道区域は浄化槽区域へ変更するなど、市町村に効率的な整備手法への見直しを促しています。
- ・市町村に対し、計画的な改築や処理場の統合など、効率的な維持管理への技術的な支援を行っています。

●住民参加の水環境づくり

- ・地域住民が参加する生活排水処理対策等の水環境づくりを推進するため、関係機関が連携して啓発活動を実施しています。

◆ 小学校への出張教室 ◆

●良好な河川・海岸環境づくり

- ・多様な生物が生息・生育する水辺の保全や復元、人と水とのふれあいの場の創出など、水辺環境の整備に努めています。

◆ 親水空間の創出 ◆



R2.7.26 田ノ浦ビーチ「マリンスクール '20」



R元.12.17 石垣小学校
(別府市)



R元.10.24 わさだ小学校
(大分市)



R元.11.17 今津わいわい祭
(中津市)

【目標指標】

指 標	基準値		R1年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
生活排水処理率	H26	72.3%	79.7%	77.7%	97.5%	88.2%

【指標による評価】

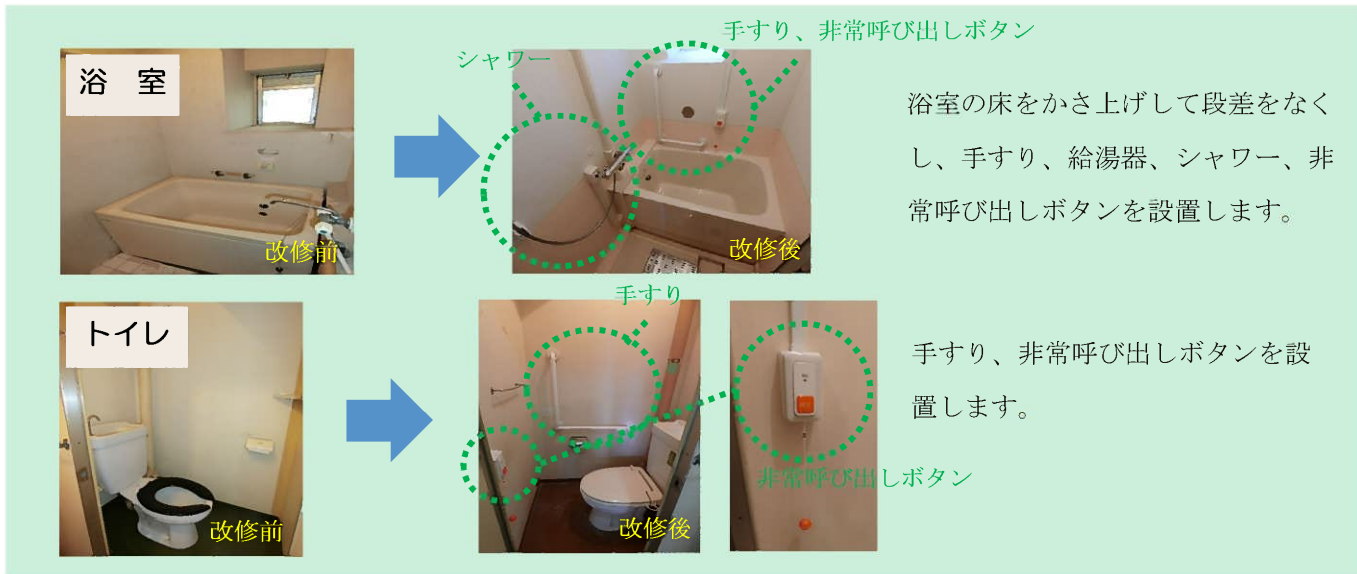
評価	理 由 等
概ね達成	市町村に対して財政面での支援を行うなど、目標値を概ね達成した。

3 快適な住まいづくりの推進

● 県営住宅の改善

劣化の程度が大きいものについて、優先的に外壁や防水等改修工事を実施し、建物の長寿命化を図っています。

エレベーターの設置されていない県営住宅の1階部分の住戸において、浴室やトイレに手すりや給湯設備等を設置し、高齢者の利用に配慮した改善工事を行っています。



● 木造住宅の普及・振興

木造住宅の普及・振興を図るため、建築関係団体と組織した協議会により優良な建築物を顕彰するコンクールを開催するとともに、研修会などを通じ建築技術者の育成に努めています。

令和元年度は、「おおいた木の良さを生かした建築賞 2019」（応募総数 42 作品）や建築技術者の育成を目的とした研修会などを実施し、建築物の木造化を推進しています。



【目標指標】

指 標	基準値		R1年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
県営住宅住戸内バリアフリー整備戸数の割合	H26	31.2%	33.7%	34.4%	102.1%	35.0%

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	高齢者向け改善事業で住戸内のバリアフリー化を実現した。

4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援

● 主要な観光地を結ぶ道路整備

- ・ 主要な観光地間を周遊するルートや、地域道路ネットワークを構成する主要な観光地へのアクセス道路について整備を進めています。
- ・ 令和元年度は、別府市と由布市湯布院町を結ぶ（主）別府一の宮線東山工区の開通などにより、ツーリズム振興に寄与しました。



（主）別府一の宮線 東山工区（別府市）

● 良好な景観の保全・再生・創出

- ・ 本県の恵まれた自然景観や文化を観光資源として活かすため、ラグビーW杯（R元.9）に向けて主要観光ルートの防護柵の更新や支障木伐採を実施しました。

《景観に配慮した防護柵の更新事例》

別府一の宮線（九重町）



《更新前》



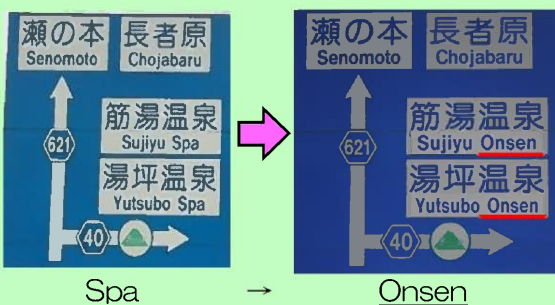
《更新後》

● おもてなしの道路管理

- ・ 観光地へのアクセスルートにおいて、道路案内標識の英語表記適正化（※1）を進め、また、例年行っている草刈りに加えラグビーW杯開催前に草刈り（※2）を実施し、来県者が目的地まで分かりやすく、安全に運転できる道路環境の創出・維持に取り組んでいます。

※1 《道路標識の英語表記の適正化》

※2 《草刈り実施事例》 国道500号（別府市）



《着手前》



《着手後》

● 観光施策等と連携した取組

- ・ 県が推進する「ツーリズム戦略」などの観光施策等と連携し、魅力ある道路環境の整備等に取り組んでいます。
- ・ スポーツツーリズム支援として、別府一の宮線（九重町大字田野 延長約5km区間）において、路肩拡幅等による道路環境整備（トレーニングコース整備）を引き続き実施しています。

《道路環境整備の事例》 県道別府一の宮線（長者原工区）



《整備前》



《整備後》